

# 子どもたちに 核兵器も基地もない 平和な日本と世界を

憲法・平和・核兵器廃絶  
メールニュース第8号  
2011年6月17日(金)  
全教・国民共同局

## 国民の声を国会から締め出す比例定数削減反対！ 共同を大きく広げ、法案の提出を止めよう！

「比例定数削減に反対する6・9大集会 in 東京」に1200人が参加



東日本大震災から3か月、すべての被災者を救済し、1日も早く原発事故を収束させるために、政府も国会も全力を尽くすべき時に、被災者不在・国民不在の「不信任案提出」騒ぎ。国民の間に不信感が広がっています。一方で、大震災に乗じて、復興を口実にした「大連立」の動きが強められ、国会では、参議院憲法審査会の規程制定が強行され、憲法改悪への動きが強められています。

これを打破しようと、6月9日、なかのZERO大ホールで開かれた「比例定数削減反対集」に、1200人以上の参加者がつどい、会場は比例定数削減を絶対に許さない熱気に包まれました。

集会では、日本共産党の市田書記局長があいさつし、6/9付の産経新聞で、森喜朗元総理が「大連立」のねらいについて、「震災復興・原発事故対策」「税と社会保障の一体改革」「選挙制度」「憲法」、この4つの懸案をこの際、期限を区切って結論を出す「絶好のチャンス」だと、あけすけに語っていることを紹介して、こうした野望を達成させるために衆参の比例定数削減を狙っていることに目を向けるべきと訴えました。大連立も定数削減も、戦前の大政翼賛会と同じような大変危険な流れだと指摘。しかし、民意をふみにじる強引なやり方は決して思い通りには進まず、矛盾に直面せざるを得ない、ここに確信を持ち、大いに奮闘しようと呼びかけました。

そして、渡辺治さん（一橋大学名誉教授）が、「大震災後の政治の行方-大連立、比例定数削減がねらうもの」と題して講演を行いました。渡辺さんは、「構造改革」推進・日米同盟強化という「大連立」の実態は短期間で国民に見抜かれる、そのときまでに反対勢力を国会から排除するために比例定数削減をやってしまおうとする、「民主主義の破壊的な動きだ」と強く批判しました。

講演後、各界代表（農民・女性・保育・教職員・土建など）がリレートークを行いました。

都教組を代表して葭岡執行委員がトーク（6／9集会）《都教組のHPより転載》

## 「学校が地域の絆を結ぶ拠点として維持・再生・発展で きるようにするためにも・・・」

「3・11のあの日、被災地はもとより、東京でも自分の家を心配しつつも現場の子どもを守るため、教職員は協力して働きました。いざという時の教職員集団の底力を見た思いがします」「今回の震災体験は、学校と教育をめぐるそのあり方を根本から問い直すこととなりました。



学校こそ子どもたちが安心して親を待っている所であればなりません。地域住民にとっても安全・安心はもとより地域の絆を結ぶ場所にならなければなりません。そこに働く私たちの仕事は、子どもと地域から大きな期待が寄せられています」「『地域主権改革』の名の下に、これまでの公的に保障された場から私的な『自己選択・自己責任』へと大きく組み替えられてきています。人々がばらばらにされ、格差社会、無縁社会が拡大しています。今回のような自然災害に遭っても、学校が地域の絆を結ぶ拠点として維持・再生・発展できるようにすること、そのためには国民が語り合い、学校づくりに全力をあげることが求められます。比例定数削減によって、この『地域主権改革』を推進する二大政党のみが議席を独占することになってしまっは、地域、子どもたちから求められている学校づくりはできません。民意を切り捨て、民主主義を土台から壊す比例定数削減を私たち皆で力を合わせてくいとめましょう」と訴え、大きな共感の拍手をえました。

**「軍事費を削って復興にまわせ」「公務員賃金引き下げ反対」**

**「原発被害者を救済せよ」**

**・・・国会前で600人がシュプレヒコール(6/15)**

6月15日、衆議院第二会館前の歩道をびっしり埋める600人の参加で、昼休み国会行動が行われました。国民大運動実行委員会・中央社保協・安保破棄実行委員会主催。全教を代表して蟹沢書記次長が「公務員賃金引下げを許さない」決意表明。この日は、全体で27万筆の署名を提出しました。そのうち、全教が提出した署名は・・・

★「憲法とILO原則にもとづいた労働基本権回復を」署名 **33067筆**

★「消費税増税反対」署名 **16114筆**

★「思いやり予算の廃止を求める」署名 **8351筆**

★「医療・介護の拡充求める」署名 **5433筆**

★「後期高齢者医療制度廃止」署名 **5450筆**

★「比例定数削減反対」署名 **3283筆**

★「社会保障制度としての国保を」署名 **6143筆**